

畜産みやぎ

発行所
 名取市増田字柳田379番地 1
 宮城県畜産協会
 電話 382 - 8134

編集発行人
 大 堀 哲

印刷所
 (株)東北プリント



テレトラック三本木

も く じ

C O N T E N T S

新酪農団体「みやぎの酪農農業協同組合」発足す 2	宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画書について ... 8
肉用牛肥育経営安定対策事業(新マル緊事業)のご紹介 ... 3	飼料イネ栽培と試験研究の取り組みについて 9
平成12年度家畜共済事業実績について 4	実践大の楽しい過ごし方 10
平成13年度生乳需給計画 及び平成12年度生乳需給状況について ... 6	新人紹介 10
牛海綿状脳症(BSE)について 7	

みやぎの
 畜産情報
 発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>
 Eメール mygchiku@mwnet.or.jp

新酪農団体「みやぎの酪農農業協同組合」発足す

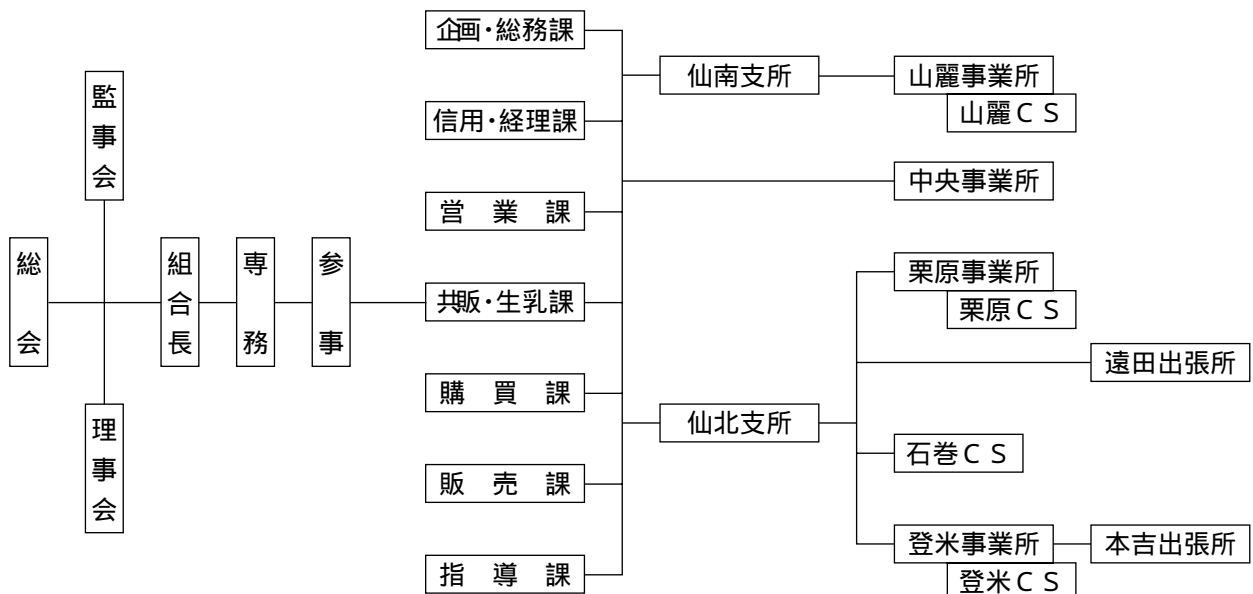
みやぎの酪農農業協同組合

去る4月1日(日)に県下7酪農団体(北から、本吉郡酪農農業協同組合、栗原郡酪農農業協同組合、登米郡酪農振興農業協同組合、遠田郡酪農農業協同組合、宮城県北部酪農農業協同組合、仙台酪農農業協同組合、蔵王酪農農業協同組合)による、蔵王酪農農業協同組合を存続組合とした「みやぎの酪農農業協同組合」が発足しました。

本県酪農団体の組織整備については、平成10年に「宮城県組織整備推進対策本部」が設立されたことに始まり、その検討結果を受け、平成11年4月に「宮城県酪農組織合併研究会」が設置され、一年間の検討の成果として取りまとめられた「宮城県酪農組織合併基本構想」を基幹に、平成12年3月10日に「宮城県酪農組織合併研究会」を「宮城県酪農組織合併推進協議会」に切り替え、「常任委員会」、「幹事会」、「専門部会」を新たに設置し基本構想の実現に向けた具体的な合併計画づくりを行い、3カ年に渡る協議結果を踏まえ、平成12年12月27日に各組合同時に開催された臨時総会において組合員の承認を経て、正式に合併が決定されました。

なお、「みやぎの酪農農業協同組合」は「宮城県機構図

みやぎの酪農農業協同組合の機構は以下のとおりです。



生乳販売農業協同組合連合会」の機能，事業を包括継承することになりました。

本県酪農団体はそれぞれ50年余りの歴史のなかで酪農経営の安定に寄与してきたものですが、いまだ酪農家の減少は続いており、近年の乳価低落，飲用消費の低迷，また平成11年11月に制定された「家畜排泄せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」にみられる環境問題などの要因もあいまって、生産乳量はここ数年減少傾向で推移しております。また今年度から国の「新たな酪農乳業大綱」が平成12年度4月作成の「酪農及び肉用牛の近代化を図るための基本方針」の具体的な数値目標のもと本格的に実施されるため、酪農、乳業界に市場原理導入による大きな変化が予想され、酪農経営に与える影響は大なるものと予想されます。

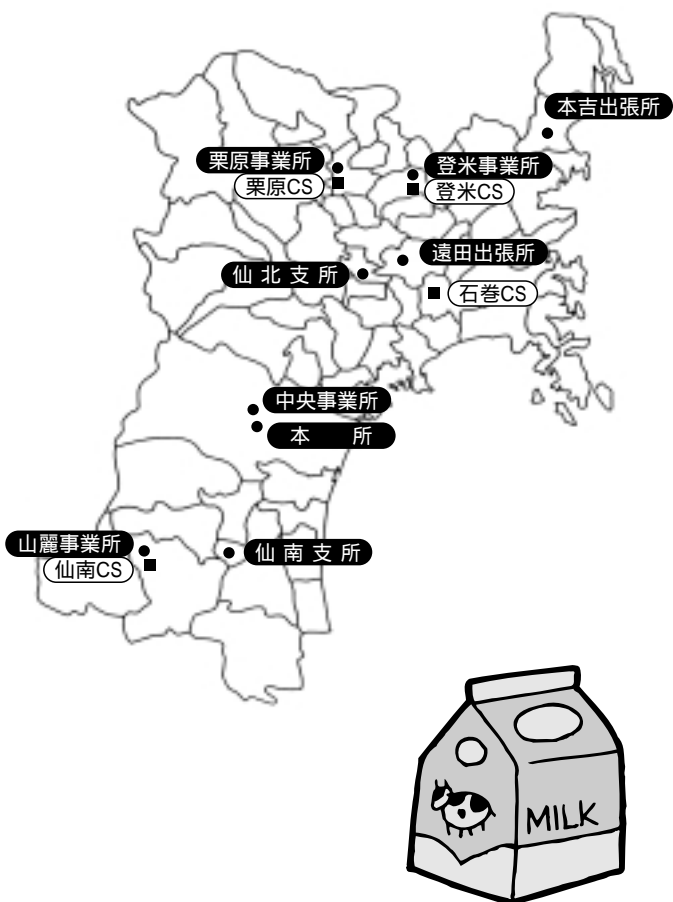
新組合として発足した「みやぎの酪農農業協同組合」は、統合によるメリットを最大限に活かしながら強固な組織体制を確率し、酪農経営の連帯と結束を深め、酪農諸問題を解決しつつ、いかなる状況変化にも耐えうる酪農経営の構築に向けて組織の総力をあげて取り組むことを基本方針とします。

<p>正統の育ちと味</p>  <p>仙台牛銘柄推進協議会</p> <p>TEL: 022-236-2255</p>	<p>WORLD SPORTS</p>  <p>株式会社 五十嵐商会</p> <p>仙台市青林区五丁目1番地 電話 022-236-2525 (代表)</p>	<p>畜産振興の明日を担う地方競馬</p>  <p>地方競馬全国協会</p>
---	--	---

施設配置図

本所は仙台市青葉区錦町に、大河原町と小牛田町に、仙南、仙北支所を置き、事業所として栗原事業所、登米事業所、山麗事業所、出張所として遠田出張所、本吉出張所を置きます。将来的にはより効率的な施設運営に再編整備することを予定していません。

本所は全体の総括と管理を受け持ち、組合員と直接に接することの多い支所等には酪農経営への的確なサービスを提供できる組織作りを推進します。



肉用牛肥育経営安定対策事業 (新マル緊事業)のご紹介

- 全国マル緊と地域マル緊が一体化され新マル緊がスタート - (社)宮城県畜産協会

1 事業の目的

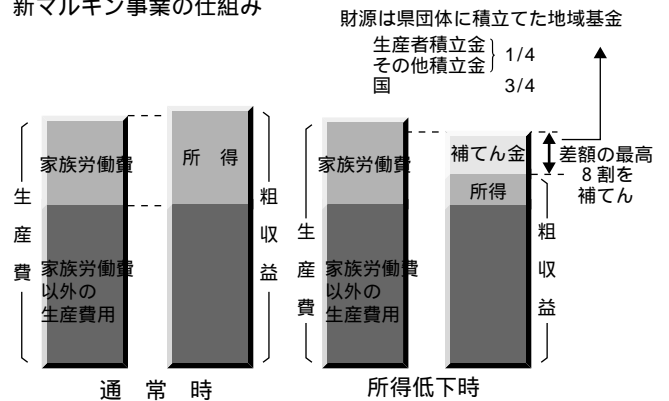
肉用牛肥育経営の安定を図るため、品種区分毎に生産者の搬出と国の助成により地域基金を造成し、収益性が悪化した時に家族労働費の補てんを目的とする事業です。

2 事業の内容

都道府県ごとに肥育牛1頭当りの四半期推定所得が平均家族労働費を下回った場合に、その水準に応じて契約肥育牛生産者に補てん金を交付致します。

- 地域基金拠出割合 生産者：国 = 1 : 3
- 事業実施期間 平成13年度～平成15年度
- 発動基準 地域の直近3ヵ年の平均家族労働費(全国平均を上限)
- 補てん割合 発動基準と四半期推定所得との差額の8割
- 補てん金交付時期 各四半期(発動時)
- 対象品種 肉専用種, 交雑種, 乳用種(その他)
- 生産者積立金 都道府県ごとに肥育牛1頭当り金額を決定

新マル緊事業の仕組み



3 事業の問合せ先

(社)宮城県畜産協会価格安定課

担当：伊藤，鈴木

TEL 022-382-8137 FAX 022-382-8135

KOMATSU
 カンタン操作で、
 圃科も堆肥もラクラク作業
コマツ宮城株式会社
 仙台市宮城野区扇町二丁目1の3
 電話(022) (237) 7441番机

●効能・・・粗飼料の臭い込み、消化吸収促進
 悪臭防止、環境配慮作り
 飼料30年の伝統実績を誇る安全、天然酵母配合
Ferment Feed
ピタコーゲン
株式会社 セイフ 東北営業所
 〒880-0011 仙台市青葉区上杉一丁目15番3号
 TEL 0222-215-3112
 FAX 0222-215-7150

ビフィズス菌は
 洗きたまま腸までとどきます。
ビヒダス
ヨーグルト 500ml
 直轄乳業株式会社

平成12年度家畜共済事業実績について

宮城県農業共済組合連合会

平成12年度の家畜共済事業の引受並びに事故実績がまとまりましたので御報告いたします。

1. 引受関係(表1)

引受頭数は合計で130,116頭となり、前年度より1,003頭の減少となり前年対比で99.2%となった。このことについては、高齢化による畜産農家の廃業、畜産農家を取り巻く経済的、環境的問題が原因と思われる。

共済金額合計では207億3,254万円となり、前年対比で6億8,503万円減少の96.8%となった。この原因は畜産農家の生産物の価格低迷などによる、経済的な逼迫と家畜共済適正化による高齢牛の適正評価等が考えられる。

平成12年度 家畜共済引受状況

Table with 15 columns: 推進目標 (頭数, 共済金額, 一頭平均), 平成12年度 (頭数, 共済金額, 一頭平均), 平成11年度 (頭数, 共済金額, 一頭平均), 増減 (頭数, 共済金額, 一頭平均), 目標達成率 (頭数, 共済金額, 一頭平均). Rows include 乳牛の雌, 肥育牛, 特定肉用牛等, etc.

2. 事故関係(表2)

死傷事故では損害防止に対し、各組合等が取り組んだ結果、全畜種合計で5,404頭と前年対比で402頭減少した。また、支払共済金では7億5,577万円となり、前年を8,291万円下回る支払となった。この背景には、組合員、組合、家畜診療センターの損害防止事業に対する取組みの結果と考えられる。

事故多発疾病は(表3)に示すとおりであり、乳牛では関節炎、乳房炎、ダウナー症候群が圧倒的に多く、肥育牛では、特定肉用牛では退子異常、心不全、子牛虚弱症候群が多発傾向にあるなど、例年とほぼ同じ傾向にある。これらのことから群管理指導と予防注射にウェイトをおいた損害防止の取組が今後の課題と思われる。

病傷事故は全畜種で61,456件、全畜種で前年対比1,821件減少した。支払共済金では前年度を1,879万円上回った。病傷事故の主要疾病は乳牛の雄では繁殖障害、乳房炎、周産期性疾患、特定肉用牛等では繁殖障害、子牛の腸炎、肥育牛では呼吸器疾患が多く経済的損失が甚大であることから、今後も関係機関、関係団体のご指導を頂きながら、群管理指導に努めるとともに、検診車、搾乳立会、繁殖巡回、ワクチン接種、予防注射を駆使するとともに、平成13年度より新規事業として関節炎を含む肢蹄疾病(運動器疾病)予防にウェイトをおいた損害防止を展開し、事故低減と農家の生産性の向上に努めてまいりたい。

平成12年度 家畜共済事故状況(死傷)

・死傷事故

単位: 頭, 円

Table with 15 columns: 平成12年度 (死亡, 廃用, 合計, 支払共済金, 請求保険金), 平成11年度 (死亡, 廃用, 合計, 支払共済金, 請求保険金), 増減 (死亡, 廃用, 合計, 支払共済金, 請求保険金). Rows include 乳牛の雌, 肥育牛, 特定肉用牛等, etc.

平成12年度 家畜共済事故状況(病傷)

単位:円

	平成12年度					平成11年度					増減				
	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	技術給付金	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	技術給付金	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	技術給付金
乳牛の雌	18,801	320,620,652	97,788,173	128,181,662	74,067,721	19,029	309,860,383	100,948,271	116,979,513	77,368,295	-228	10,760,269	-3,160,098	11,202,149	-3,300,574
(成乳牛)	18,255	315,578,792	96,239,173	126,567,256	72,498,691	18,477	304,219,199	99,147,212	115,039,224	75,689,213	-222	11,359,593	-2,908,039	11,528,032	-3,190,522
(育成乳牛)	546	5,041,860	1,549,000	1,614,406	1,569,030	552	5,641,184	1,801,059	1,940,289	1,679,082	-6	-599,324	-252,059	-325,883	-110,052
肥育牛	9,746	112,244,622	38,254,869	44,908,400	20,559,797	10,832	116,013,632	40,440,687	46,951,005	22,198,781	-1,086	-3,769,010	-2,185,818	-2,042,605	-1,638,984
特定肉用牛等	32,695	357,569,214	92,280,844	172,704,434	71,456,626	32,242	345,501,082	95,443,107	170,668,459	65,101,672	453	12,068,132	-3,162,263	2,035,975	6,354,954
(胎児・出生以外)	20,838	202,014,274	54,809,538	98,858,327	35,884,793	21,706	211,405,466	61,301,480	104,537,060	36,383,693	-868	-9,391,192	-6,491,942	-5,678,733	-498,900
(胎児・出生子牛)	11,857	155,554,940	37,471,306	73,846,107	35,571,833	10,536	134,095,616	34,141,627	66,131,399	28,717,979	1,321	21,459,324	3,329,679	7,714,708	6,853,854
一般馬	16	167,490	48,349	78,740	28,750	14	170,510	47,913	101,010	15,020	2	-3,020	436	-22,270	13,730
肉用種雄牛											0	0	0	0	0
種豚	198	1,290,270	315,581	182,850	735,030	228	1,371,210	322,768	209,410	796,320	-30	-80,940	-7,187	-26,560	-61,290
											0	0	0	0	0
合計	61,456	791,892,248	228,687,816	346,056,086	166,847,924	62,345	772,916,817	237,202,746	334,909,397	165,480,088	-889	18,975,431	-8,514,930	11,146,689	1,367,836

平成12年度 家畜共済主要疾病別発生状況(死産事故)

件数ベース

乳牛の雌

病名	県計	県南	宮城中央	亶理名取	六の国	大崎	栗原	迫地方	石巻地方
1320 関節炎	435 17.18%	157 22.27%	73 27.14%	28 32.18%	49 10.86%	19 9.84%	34 14.05%	58 14.46%	17 9.24%
705 急性乳房炎	296 11.69%	103 14.61%	22 8.18%	19 21.84%	35 7.76%	9 4.66%	26 10.74%	67 16.71%	15 8.15%
804 ダウナー症候群	288 11.37%	68 9.65%	21 7.81%	4 4.60%	64 14.19%	29 15.03%	30 12.40%	45 11.22%	27 14.67%
110 心不全	257 10.15%	61 8.65%	25 9.29%	6 6.90%	42 9.31%	21 10.88%	38 15.70%	37 9.23%	27 14.67%
1350 腰痠	172 6.79%	14 1.99%	11 4.09%	1 1.15%	54 11.97%	14 7.25%	18 7.44%	25 6.23%	35 19.02%
その他	1,084 42.81%	302 42.84%	117 43.49%	29 33.33%	207 45.90%	101 52.33%	96 39.67%	169 42.14%	63 34.24%
計	2,532	705	269	87	451	193	242	401	184

病名	県計	県南	宮城中央	亶理名取	六の国	大崎	栗原	迫地方	石巻地方
110 心不全	178 19.78%	32 21.33%	5 8.93%	6 27.27%	12 18.46%	13 14.94%	14 29.79%	88 21.41%	8 12.9%
314 肺炎	121 13.44%	37 24.67%	5 8.93%	5 22.73%	15 23.08%	11 12.64%	6 12.77%	37 9.00%	5 8.06%
471 肝炎	94 10.44%	5 3.33%	6 10.71%	1 4.55%		6 6.90%	3 6.38%	69 16.79%	4 6.45%
430 急性鼓脹症	74 8.22%	12 8.00%	7 12.50%		21 32.31%	13 14.94%	2 4.26%	16 3.89%	3 4.84%
439 第四胃左方変位	57 6.33%	5 3.33%	6 10.71%	1 4.55%		2 2.30%	1 2.13%	39 9.49%	3 4.84%
その他	376 41.78%	59 39.33%	27 48.21%	9 40.91%	17 26.15%	42 48.28%	21 44.68%	162 39.42%	39 62.90%
計	900	150	56	22	65	87	47	411	62

特定肉用牛等

病名	県計	県南	宮城中央	亶理名取	六の国	大崎	栗原	迫地方	石巻地方
905 その他の胎子異常	453 24.20%	31 18.02%	23 32.86%	6 42.86%	63 20.66%	59 22.01%	94 27.98%	153 26.66%	24 18.05%
110 心不全	238 12.71%	16 9.30%	4 5.71%	2 14.29%	22 7.21%	24 8.96%	68 20.24%	85 14.81%	17 12.78%
455 肺炎	213 11.38%	20 11.63%	7 10.00%		31 10.16%	26 9.70%	29 8.63%	67 11.67%	33 24.81%
934 子牛虚弱症候群	194 10.36%	29 16.86%	8 11.43%	2 14.29%	40 13.11%	23 8.58%	35 10.64%	49 8.54%	8 6.02%
936 その他の新生児疾患	124 6.62%	2 1.16%	5 7.14%		27 8.85%	35 13.06%	9 2.68%	33 5.75%	13 9.77%
その他	650 34.72%	74 43.02%	23 32.86%	4 28.57%	122 40.00%	101 37.69%	101 30.06%	187 32.58%	38 28.57%
計	1,872	172	70	14	305	268	336	574	133

平成12年度 家畜共済主要疾病別発生状況(病傷事故)

件数ベース

乳牛の雌

病名	県計	県南	宮城中央	亶理名取	六の国	大崎	栗原	迫地方	石巻地方
70500 急性乳房炎	3,057 8.40%	1,044 19.29%	268 14.11%	167 14.83%	462 15.63%	241 14.65%	274 14.81%	451 16.62%	150 8.00%
62700 黄体遺残	2,350 6.46%	716 13.23%	441 23.21%	357 31.71%	320 10.83%	113 6.87%	66 3.57%	173 6.38%	164 8.87%
61700 卵胞嚢腫	1,347 3.70%	430 7.95%	46 2.42%	48 4.26%	238 8.05%	125 7.60%	158 8.54%	199 7.34%	103 5.55%
62000 卵巣静止	852 2.34%	95 1.76%	67 3.53%	64 5.68%	107 3.62%	90 5.47%	247 13.35%	133 4.90%	49 2.66%
121000 ケトosis	824 2.26%	223 4.12%	114 6.00%	38 3.37%	137 4.64%	73 4.44%	83 4.49%	103 3.80%	53 2.88%
その他	27,972 76.84%	2,904 53.66%	964 50.74%	452 40.14%	1,691 57.23%	1,003 60.97%	1,022 55.24%	1,654 60.97%	18,282 97.24%
計	36,402	5,412	1,900	1,126	2,955	1,645	1,850	2,713	18,801

肥育牛

病名	県計	県南	宮城中央	亶理名取	六の国	大崎	栗原	迫地方	石巻地方
31000 気管支炎	3,777 38.75%	382 37.90%	286 47.27%	28 19.44%	30 14.63%	355 24.04%	138 24.17%	2,291 48.59%	267 26.15%
47100 肝炎	906 9.30%	37 3.67%	64 10.58%	11 7.64%	6 2.93%	219 14.83%	56 9.81%	486 10.31%	27 2.64%
45500 肺炎	723 7.42%	128 12.70%	34 5.62%	18 12.50%	15 7.32%	126 8.53%	47 8.23%	136 2.88%	219 21.45%
42500 第一胃食滞	668 6.85%	28 2.78%	25 4.13%	2 1.39%	8 3.90%	74 5.01%	56 9.81%	324 6.87%	151 14.79%
31400 肺炎	620 6.36%	166 16.47%	10 1.65%	20 13.89%	38 18.54%	100 6.77%	35 6.13%	171 3.63%	80 7.84%
その他	3,052 31.32%	267 26.49%	186 30.74%	65 45.14%	108 52.68%	603 40.83%	239 41.86%	1,307 27.72%	277 27.13%
計	9,746	1,008	605	144	205	1,477	571	4,715	1,021

特定肉用牛等

病名	県計	県南	宮城中央	亶理名取	六の国	大崎	栗原	迫地方	石巻地方
45500 肺炎	9,245 28.28%	805 27.37%	322 22.53%	53 22.75%	1,733 30.20%	1,120 25.10%	1,768 30.73%	2,897 28.84%	547 26.16%
62000 卵巣静止	3,901 11.93%	246 8.36%	202 14.14%	22 9.44%	501 8.73%	486 10.89%	1,177 20.46%	1,070 10.65%	197 9.42%
62700 黄体遺残	2,766 8.46%	460 15.64%	206 14.42%	53 22.75%	459 8.00%	300 6.72%	336 5.84%	599 5.96%	353 16.88%
31000 気管支炎	2,396 7.33%	123 4.18%	135 9.45%	4 1.72%	344 6.00%	468 10.49%	284 4.94%	941 9.37%	97 4.64%
61700 卵胞嚢腫	1,744 5.33%	222 7.55%	23 1.61%	4 1.72%	348 6.06%	249 5.58%	324 5.63%	440 4.38%	134 6.41%
その他	12,643 38.67%	1,085 36.89%	541 37.86%	97 41.63%	2,353 41.01%	1,840 41.23%	1,865 32.41%	4,099 40.80%	763 36.49%
計	32,695	2,941	1,429	233	5,738	4,463	5,754	10,046	2,091

平成12年度生乳需給状況並びに平成13年度生乳需給調整対策について

みやぎの酪農農業協同組合

平成12年度の全国における生乳計画生産量は、北海道で期待された生産の回復がみられなかったことと、都府県においては、特に上記において西日本で大幅な増加基調があったものの、下期以降の生乳生産の失速が影響したこともあり、全国ベースで対前年比99.1%と前年を1%ほど下回る結果となりました。

本県の生乳生産状況については、平成9年度において対前年比99.6%と下回って以来減少傾向をたどり、平成12年度の生産状況においては県合計受託乳量166,101トンで前年比95.78%と大幅な減産となりました。又計画比については、175,910トンの目標に対し、94.42%と大幅な未達となりました。

平成12年度生乳計画生産達成状況

(単位: トン, %)

生産者団体	平成12年度計画生産達成状況					
	平成11年度実績	平成12年度計画	受託乳量	前年比	計画比	超過・未達
旧蔵王酪農	32,207.7	31,832	30,395.1	97.40	95.49	-1,436.9
旧仙台酪農	6,048.1	6,149	5,821.2	96.25	94.67	-327.8
旧北部酪農	29,730.7	30,112	28,613.5	96.24	95.02	-1,498.5
旧栗原酪農	6,677.0	6,734	6,478.4	97.03	96.20	-255.6
旧登米酪農	6,723.8	6,740	6,332.7	94.18	93.96	-407.3
旧本吉酪農	5,369.6	5,512	5,045.0	93.95	91.53	-467.0
旧遠田酪農	5,847.6	5,971	5,901.0	100.91	98.83	-70.0
みやぎの酪農計	91,604.5	93,050	88,586.9	96.71	95.20	-4,463.1
宮城酪農	49,882.7	50,596	47,349.2	94.92	93.58	-3,246.8
全農宮城	30,628.9	30,948	28,977.0	94.61	93.63	-1,971.0
山田酪農	1,296.7	1,316	1,187.7	91.59	90.25	-128.3
計	81,808.3	82,860	77,513.9	94.75	93.55	-5,346.1
合計	173,412.8	175,910	166,100.8	95.78	94.42	-9,809.2

用途別販売については、飲用向けが醗酵乳ヘシフトとしたことと、生産そのものが停滞したことにより、飲用向けについては対前年比100.1%と微増にとどまりました。

又、加工向けについては、飲用向けの増加や、醗酵乳向け等の仕向の拡大も相まって、対前年比91.9%と大幅な減少となりました。

本県においては、飲用向けについては、対前年比102.8%と順調な伸びを示しており、生産量の減少と相まって、加工向けについては対前年比69.9%と大幅に減少しました。

平成12年度用途別販売実績

(単位: トン, %)

用途別	乳量	前年比	構成比
飲用向け	126,943	102.8	76.4
生クリーム等向け	6,472	87.4	3.9
はっ酵乳等向け	9,970	89.6	6.0
チーズ向け	1,762	125.8	1.1
加工向け	20,954	69.9	12.6
計	166,101	95.8	100.0

特産・畜産



市 KODAWARI ICHIBA 場

.....日本全国いもの産直便.....

各県の畜産会が選び出した全国約2000件の畜産物生産情報を、一堂に集めました。
 今まで知らなかった珍しい畜産品や、こだわり畜産品の数々。
 産直品で食卓にひと花添えたい人から、産直品を作りたい人まで、
 とっても役に立つ情報が、インターネットでご利用になれます。
[宮城県畜産会ホームページからのアクセスをお願いします。](http://cali.lin.go.jp/japan/k04/)
<http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

また、平成13年度の生乳計画生産については、中央酪農会議おける、平成12年度の未達ペナルティーが確定していないことと、平成13年度の県別生乳計画生産目標数量が確定していないことから、みやぎの酪農協については当面、前年実績数量(バルグ乳)を目標数量に掲げ、生乳計画生産実行管理を実施しております。

なお、中央酪農会議で数量ペナルティーが確定した後の最終的な13年度目標数量が決定次第、県全体の目標、並びに各生産組織のそれぞれの目標数量を作成する予定になっております。

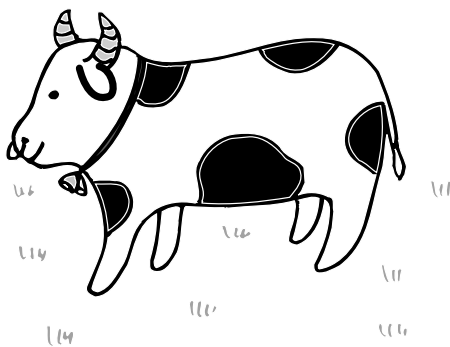
また、各県の計画生産乳量管理については、本年度より指定団体となった東北生乳販連で期間調整も含めて実施することになりますので、県別の生乳計画生産目標数量が示された段階で、具体的な生乳計画生産目標(含む個人別目標)を設定いたしますので、平成13年度の目標数量達成については、酪農生産基盤の維持拡大の上からも、よろしく御協力をお願い申し上げます。

宮城県の酪農動向

(単位:頭,%)

項 目	平成12年2月1日	平成13年2月1日	対前年比
生乳出荷戸数	1,149	1,098	95.6
乳牛飼養頭数	32,895	31,571	96.0
経産牛頭数	24,315	23,104	95.0
哺乳牛	21,062	19,925	94.6
乾 乳	3,253	3,179	97.7
未経産牛	8,580	8,467	98.7
18ヶ月以上	3,163	2,836	89.7
18ヶ月未満	5,417	5,631	104.0

(販売課長 武田良介)



衛生便り

牛海綿状脳症 (B S E)

仙台家畜保健衛生所

狂牛病という牛の疾病が、イギリスを始めEU諸国で発生していると報道されています。狂牛病は、牛が接触・音・光に対して過敏になったり、歩様の異常などの神経障害が見られ、やがて死亡する病気で、あたかも狂った様に見えることから、狂牛病の俗名で呼ばれています。通常、海外ではBovine Spongiform Encephalopathy (牛海綿状脳症)の頭文字をとってBSEと呼ばれています。病理組織検査で脳にスポンジ状(海綿状)の病変を認めることが名前の由来です。原因はプリオンと呼ばれる通常の細胞蛋白質が、異常化し蓄積され発症すると考えられています。感染源としては、BSE感染牛が動物性飼料(肉骨粉)に混入し、それを給与された牛が感染・発症した説が一般的です。そして、有効な治療方法はありません。

最近の研究では、羊のプリオン病であるスクレーピーがBSEの起源である説は疑問視されています。また、人におけるプリオン病で、従来からあるクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)とは異なる新型CJDは、BSEに由来している可能性が疫学及びプリオン蛋白質の分子解析などで疑われています。BSEの発症は、長い潜伏期間の後2~5歳の成牛(3.5歳が最も多い)で発症します。

国内の対策として我が国では、EU諸国からの牛、精液、受精卵、反芻獣由来の肉骨粉等の輸入を全面的に禁止しました。また、EU諸国を原産とする反芻動物由来の物質を医薬品等の原料などに使用しないことも定められています。今のBSE診断ではプリオンに対する抗体の上昇や特異的な生化学的変化が起こらないため、生前診断は実施されておりません。しかし、近年、海外では血液検査からの生前診断法が研究されています。

平成8年度から全国の家畜保健衛生所では神経症状を示した24ヶ月齢以上の牛についてBSEの病理組織検査を実施していますが、現在のところ国内での発生は確認されていません。平成13年度からは全国的サーベランスも実施されています。

これからのBSE侵入防止並びに国内での発生予防、監視対策の実施により現在まで清浄性を保っています。しかし、油断は禁物です。もしBSEの症状を疑う牛を発見しましたら、ただちに獣医師または最寄りの家畜保健衛生所まで連絡して下さい。

(病性鑑定班 高橋幸治)

<p>来客 接待に牛乳を!!</p> <p>専業牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、安価、お客様に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。</p> <p>宮城県牛乳普及協会</p> <p>仙台市青葉区南一丁目5番5号 0932-2521798</p> 	<p>ORION</p> <p>酪農家の声</p> <p>声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。</p> <p>東北オリオン株式会社</p> <p>本社: 984-0801 仙台市青葉区南一丁目5番5号 0932-2521-050</p>	<p>フロントラインスプレー</p> <p>銚塩E100</p> <p>東北ゼンヤク株式会社</p> <p>〒980-2302 宮城県仙台市青葉区南一丁目2番21-1</p> <p>TEL: 022-262-9181 FAX: 022-262-9179</p>
--	---	---

「宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画書」について

宮城県畜産課

宮城県は「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」(昭和29年法律第182号)第2条の三に基づき、平成13年3月21日付けで平成22年度を目標年度とする「宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画書」(以下「計画書」という。)を策定しました。計画書は、製本したものを各市町村・農協・畜産団体等に配布しておりますが、以下の計画書の概要について説明します。

肉用牛頭数	105,000頭	105,000頭
戸数		
繁殖	7,756戸	4,500戸
肉専用種肥料	1,239戸	700戸
乳用肥育	212戸	110戸

平成22年における経営指標

経営部門	経営規模
酪農(繋ぎ飼い)	経産牛50頭、総飼養頭数76頭規模
酪農(フリーストール)	経産牛70頭、総飼養頭数107頭規模
肉専用種繁殖	繁殖牛30頭規模
肉専用種肥育	肥育牛100頭規模
乳用種肥育	乳用種180頭、交雑種120頭規模

1 県計画の視点

酪農及び肉用牛生産は、土地利用型農業の基軸であるという基本を確認し、耕種経営及び地域の農業関係者との連携を一層推進するとともに、県及び市町村が必要な施策を講じる。

酪農は、自給飼料の活用、家畜排せつ物の適切な処理と利用のために必要な飼料基盤を確保し、省力的な飼養管理方式の導入と生産・経営管理技術の高度化による乳量・乳質の向上等により、ゆとりのある生産性の高い経営の実現に努める。

肉用牛は、繁殖基盤の維持・拡大を図るとともに、「仙台牛」や「宮城野和牛」の高品質牛肉の生産と乳用種等の値ごろ感のある牛肉の生産を図りつつ、意欲ある肉用牛生産担い手による経営の安定を図る。

集乳及び乳業の合理化については、集送乳の合理化、乳質の改善、生乳取引方法の改善、乳業の合理化を図るとともに消費拡大を推進する。

肉用牛及び牛肉の流通については、家畜市場の再編整備と機能の高度化、地域内一貫生産の推進、食肉処理施設の再編整備を推進する。

酪肉近代化のための主な事項

1) 飼料自給率向上

作付面積 15,807ha 20,000ha

飼料自給率 酪農：31% 48%

肉専用種繁殖：53% 74%

肉専用種肥育：8% 15%

乳用種肥育：8% 15%

2) 集乳及び乳業の合理化

集乳路線を147路線 100路線程度に合理化

乳業工場を10工場 6~7工場に統廃合

3) 牛肉流通の合理化

家畜市場を10市場 2市場に再編

食肉処理加工施設を5カ所 3カ所に再編

2 県計画の概要

平成22年度における目標頭数等

乳用牛頭数 35,100頭 32,000頭

生乳生産量 185,937トﾝ 184,900トﾝ

戸数 1,230戸 660戸

(畜産振興班 市川 敦)



畜産便り

飼料イネ栽培と試験研究の取り組み

宮城県畜産試験場

1 飼料イネの栽培状況

米の生産調整と飼料自給率向上対策を背景に、飼料イネは水田の機能を維持したまま飼料生産が可能なることから“瑞穂の国の飼料作物”として再び注目されるようになりました。

本県における飼料イネの生産面積は、昨年度は10ha以下でしたが、今年度は生産奨励等の効果もあり約60haと大幅に増加する見込みです(図1)。

2 栽培収穫上の留意点

収穫は、モア、ロールベア等牧草収穫用機械を利用します。大型機械での作業となるので、ほ場の地耐力が問題となります。このため、早期落水と溝切りが不可欠です。

水稻の落水時期は、通常出穂後25日頃です。飼料イネの場合は、成熟期(=食用米としての刈取り時期)まで良好な登熟環境を維持する必要がないので、出穂後すぐ落水しても支障ありません。また、排水をよくするため溝切りを行うこともほ場によっては必要です。

刈取りは黄熟期が適期です。この時期の水分は60%程度まで低下しているため、刈取り後の予乾は不要であり良質のサイレージに調製できます(表1)。

3 試験研究としての取り組み

今年度から古川農業試験場と共同で試験を行っています。試験の概要は次のとおりです。

乾田直播栽培

飼料イネの栽培法は、基本的に水稻と同じであり特別な技術を要しません。しかし、家畜飼料であることから一層経費を節減し省力的に栽培する必要があります。そこで、水稻の栽培技術の中でも特に省力化が期待される乾田直播で飼料イネを栽培し、生育収量や生産コストを調査します。

専用品種の比較

多収で耐病性・耐倒伏性の強い飼料イネ専用品種

が国等で育成されています。これらの品種は育成地(関東)基準で晩生から極晩生に区分されることから本県で栽培した場合、育成地並の生育量を確保できるかわかりません。

このため、それらの品種を栽培し、本県の気象条件における生育状況・収量並びに栄養成分を調査します。さらに、乳牛を対象に嗜好性試験も行う予定です。

試験ほ場の見学を希望される方は、いつでも対応しますので、連絡をお待ちしています。

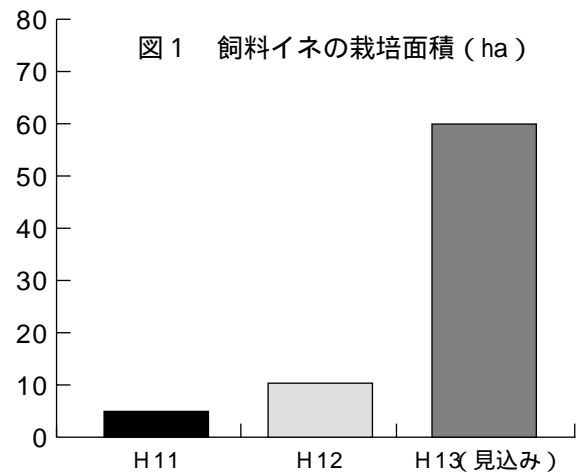


表1 稲の生育ステージと作業

生育ステージ	出穂期	糊熟期	黄熟期	成熟期
出穂後の日数(目安)	0日	15日	30日	40~50日
作業時期				
飼料イネの場合		*****		
食用米の場合				*****

(落水 *収穫)

(草地飼料部 及川克徳)



肉の日

毎月29日は肉の日です

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)
電話 022-382-8133

お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

実践大学校生の抱負

新人紹介

実践大の楽しい過ごし方

古川家畜保健衛生所

宮城県農業実践大学校畜産学部
2年 菅井 啓吾

技師 長内 利佳



私たちが実践大学へ入学して1年2ヶ月が経ちました。その間先輩達やいろいろな人と仲良くなり、外へ遊びに行ったり、体育館で汗を流したり大変楽しい日々が続いています。

入学してから1ヶ月が過ぎ寮生活にも慣れてきた頃から畜産学部と農産学部は

月1回古川の寮へ行くことになりました。古川の瑞穂寮は、名取の箕輪寮とは違い一人住まいの部屋でフローリングに冷暖房完備、ミーティングスペースはジュウタンでした。まるでビジネスホテルのような感じがしました。寮のすごさ、立派さに感動し、早く2年生になりたいと思っていました。

それが、いざ2年生になり古川に住んでしまうと、今まで名取の寮で一緒に暮らした友達と離れ、他の学部との付き合いが減ってしまったのです。多少残念にも思っていますが、その代わり月1回名取に行き他の学部の人と会う時は、久々に会うということもあり、夜遅くまで話をしたり行動をするのはいつも一緒です。すごくいい友達を持つことができてもうれしく思っています。こういう友達を持てたのも同じ屋根の下で暮らし、同じ飯を食べてきたものだからこそできる友達だと思います。

このような体験は、二度とできないと思います。実践大学校に入れたこと、そして寮生活を通して親しく付き合える友達がたくさんできたことに感謝しています。

これから削蹄師など卒業後に係る資格の取得や卒業論文など卒業を意識し学習面をもっと充実したものにしていこうと考えています。

人生の中で最後の学生生活も少なくなりましたが、残りの学校生活、寮生活を楽しく有意義に過ごしていこうと思います。そしていい思い出をたくさん作っていきたくです。



こんにちは、はじめまして。今年の4月から古川家畜保健衛生所、防疫班に配属となりました長内と申します。

生まれは宮城県ではありませんが、親の仕事の関係で転校を何度かしており、小・中・高校は仙台の学校を卒業しました。大学は県

外でしたが、就職を考える際、やはり宮城県の存在は大きく、この度縁あって宮城県の職員としてお世話になることとなりました。

現在私は、家畜の伝染病予防に関わる業務の一つとして、牛や豚の採血をしその検査を行っています。もともと産業動物関係の仕事に就きたいと考えており、希望がかなって家保に配属となったわけですが、現場に出てみると、大学での勉強のための家畜とは違い、実際に農家さんの生活を支えている家畜を扱う緊張感というのは非常に大きなものでした。また、大学で学んできてはいるものの知らないことが多く、その心積もりはしていましたが、現場とのギャップを改めて実感しています。戸惑いの連続で、落ち込むことも多々ありますが、先輩方に助けていただきながら見知らぬことを学び、動物にも触れることができ意外な発見もあったりするので、楽しみながら“勉強”している新鮮で充実した毎日を送っています。

仕事を始めてから1ヵ月半が経過していても、まだまだ分からないことばかりで右往左往していますが、これからも諸先輩方のご助言が自分の身になるよう日々努力し、また県の獣医師として自分がなすべきことは何かをしっかりと理解して、地域住民の方々との信頼関係を築けるよう頑張っていきたいと考えておりますので、今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) ア ス カ ム 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
東 新 薬 業 (株) 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	ニチエーアグロ(株)東北営業部 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755